

各水試発トピックス

「平成25年度水産試験研究プラザ」の開催

平成25年11月28日寿都町総合文化センターウィズコム、12月2日石狩市役所厚田支所、12月12日東しゃこたん漁業協同組合（以下「漁協」とする）、平成26年2月6日余市郡漁協で「平成25年度水産試験研究プラザ（以下「プラザ」とする）」を開催しました。当日は石狩湾漁協、寿都町漁協、島牧漁協、岩内郡漁協、東しゃこたん漁協、余市郡漁協及び北海道漁業協同組合連合会の漁業関係者や市町役場及び北海道の水産担当職員の方々ら197名（寿都57名、厚田46名、古平52名、余市42名）に参加いただきました。事前に漁協からいただいた要望に応じて、ナマコ、ニシン、スケトウダラ、ホッケ、ブリの生態、気候変動がウニとコンブへ及ぼす影響、海流に関する調査研究の成果を紹介しました。成果の一部はマリンネット北海道のホームページ（<http://www.fishexp.hro.or.jp/content/central/section/kikaku/tkh4vd0000003shu.html>）にアップしていますので、参考にして下さい。

意見交換では漁獲量の減少にともない漁家の経営悪化が深刻な状況であるというご意見を賜りました。このような状況を回避するため、水産試験場では調査研究で得られた重要魚種の資源状況をプラザや会議等で皆様にお伝えし、水産資源の持続的利用に貢献していきます。

参加された方々に記入していただいたアンケートの結果から、次の開催に期待する声や毎年開催の要望を多数いただき、水産試験場の研究成果に対する関心の高さが伺えました。しかしその一方、専門用語が多く難解、周知方法の改善などのご指摘もいただきました。これらは今後プラザを開催する上で参考とさせていただきます。

あるプラザ終了後、漁業者お一人から漁協を通さずに直接水産試験場を訪問しても良いかと尋ねられました。どうぞお越し下さい。お待ちしております。

（楠田 聡 水産研究本部企画調整部）



水産研究本部長の挨拶(上)と発表の様子(下、厚田)



意見交換の様子(上、寿都)と発表に集中している参加者(下、古平)